

NZワイナリー日記

木村滋久の

第6回「キムラセラーズヒストリー その1「決意」」

ワイン造りを志したきっかけ

先日もあったことですが、私が日本でのイベント等に参加する際、ワインのこと以外で「どうしてキムラセラーズを始めるにいったか」という質問を、よくいただきます。皆さまにもぜひ知っていただきたいことなので、第6回目となる今回から数回にわたり、少しずつ私とキムラセラーズについてのお話をさせていただきます。

初回でもお伝えしましたが、ニュージーランド（以下 NZ）へ移り住む以前、私は10年ほど都内のホテルに勤めていました。振り返ると、当時「習い事でも」と思い訪問したワインスクールが、最初の扉だったように思います。初級コースからのスタートでしたが、徐々にワインの魅力に引き込まれ、気がつけば2年半も通い続けていました。そして分岐点となったのは、ソムリエ試験に合格した自分へのご褒美にと思い参加した、フランスのワイナリーツアー。そこで待っていたのは、広大なブドウ畑の景色や醸造所に漂う独特の香り、そして生産者たちのワインに対するあふれんばかりの情熱。それらすべてに心打たれ「ワイン造りの仕事をしてみたい!」という思いに、私は染まっていったのです。

なぜニュージーランドへ?

それからは仕事をしながらも、ワイン造りへ思いが膨らむばかり。そこで私は、まずワイン醸造学とブドウ栽培学を勉強できる機関を探し

始めました。およそ12年前ですから、インターネットの情報も限られており私のパソコンの知識も相まって笑)、見つかったのはフランスやアメリカでの3~4年のコースのみでした。「そんな長い間の学生生活をする資金はない」とあきらめかけたとき、偶然 NZ で1年のコースを発見。悩んだ末、語学習得に1年、醸造学に1年を目標に、ホテルの退社と NZ 留学を決意しました。結婚から1年も経過しておらず、ワイン造りを夢見て身寄りもない外国へ夫婦で旅立つことに、当初賛成してくれる人は両親や同僚含め、周囲に一人もいなかったように思います。そしてそこから…

この続きは第7回でお話させていただきます。

【案内】

●新ヴィンテージワインのご案内

9月中旬、キムラセラーズの新ヴィンテージ、2015年のソーヴィニオン・ブランをリリース予定です。弊社ワインは生産量が少ないため、限られた店舗での販売になります。販売先や流通などの詳細につきましては、下記の輸入元までお問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

輸入元：(株)ヴァイ・アンド・カンパニー

☎ 06-6841-3553 (大阪本社)

☎ 03-3779-2123 (東京オフィス)



現在の生活へいたるきっかけ「シャンパーニュ・フィリポナの畑」



現在の生活へいたるきっかけ「シャトー・ムートン・ロートシルトの樽貯蔵庫」